

Press Release

栃木県立がんセンター「リサーチパーク」入居第1号の 決定について

地方独立行政法人栃木県立がんセンター

株式会社タスク

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科高橋研究室・小川研究室

2025年10月1日、栃木県立がんセンター「リサーチパーク」（以下「リサーチパーク」）の研究室に、栃木県の医療機器メーカーの株式会社タスク（以下「タスク」）と慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科高橋研究室・小川研究室（以下「慶應義塾大学」）が入居第1号として決定しました。

タスクはリサーチパークに入居し、骨軟部腫瘍・整形外科などの医療現場の具体的な未解決ニーズを特定することで解決策のアイデアを考案し、医療現場従事者とのディスカッションを通じて、新規医療機器の製品化を目指すとともに、同じ研究室に入居する慶應義塾大学との産学連携による研究の検討を深めていきます。

また、慶應義塾大学はリサーチパークの菊田科長を中心とした骨軟部腫瘍・整形外科医師との共同研究で様々なセンシング技術により、栃木県立がんセンター内の患者や高齢者の日常動作の計測と解析を行い、患者や高齢者を取り巻く環境と患者や高齢者自身の双方にとって最適な日常生活空間設計のレイアウトを考案するためのアプリケーションの開発などの社会実装を目指した研究を行います。

このように栃木県立がんセンターは、リサーチパーク研究室を提供するとともに、入居されるタスクや慶應義塾大学との共同研究など密な連携を図りながら医療機器等の研究開発に取組み、新しく高度な医療の向上に努めてまいります。

<企業等の概要及びお問い合わせ先>

○地方独立行政法人栃木県立がんセンター

1986年にがんの高度専門病院として「栃木県立がんセンター」が開院。2007年に施行されたがん対策基本法に基づき、栃木県の「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受ける。これまで、栃木県のがんの医療水準の向上、均てん化を推進し、2016年には地方独立行政法人へと経営形態を変更。現在、病院事業のほか、研究事業、臨床試験管理事業、バイオバンク事業、がん対策推進事業を5大事業として展開。2025年度の病床数は291床。診療科数は32診療科。医師・歯科医師66名が所属。全職員は505名。（7/1現在）

028-658-5151（骨軟部腫瘍・整形外科科長 菊田、施設課長 柳）

○株式会社タスク

株式会社タスク（TSK Laboratory, Japan.）は、1974年に創業した生検針や特殊針を中心とした医療機器の製造・販売・輸出を行うグローバルメーカー。クリーンルームを完備した自社工場、企画開発から製造、販売まで一貫して手掛け、針の切れ味と最高品質の製品で、世界中の医療現場に貢献。主な製品は生検針、注射針、骨髄穿刺針など多岐にわたり、OEM（受託製造）にも対応。

0282-27-0005（情報・技術企画部長 小林）